

2013総会の様子



歴史・伝統・出会い

2014関東支部同窓の集いのご案内



同窓の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じあげます。今年も、同窓会活動最大のイベントである「同窓の集い」のご案内を差し上げる時期となりました。

四月に同級会参加のため久しぶりに帰省した際、市役所裏手の旧校舎跡地に色あせた赤いレンガの門柱と古い門舎がひっそりと佇んでいるのを見ました。半世紀以上も昔の事となつてしまった青春時代のいろいろな事が想い出されました。

この地から校舎が駅前に移転してからすでに四〇数年、それ以前が七〇数年という我が母校の長い歴史と伝統です。この門柱と門舎はその長きにわたつてが我々を見守つてきてくれたと思うと感無量です。

同窓会は先輩と後輩の楽しい出会いの場です。我々現執行部もこの大きな目標に向け努力しております。皆様から今年の「同窓の集い」も本当に良かったと思つて頂けると幸いです。ぜひ、ご参加ください。

会長 佐藤 勝

新潟県立村上高等学校同窓会関東支部

お高

題字 宮 絢子
2014.5.15
第25号

発行人 佐藤 勝
編集 山下 治郎
事務局 長谷川康夫
神奈川県川崎市
麻生区向原3-5-5
☎044(953)8368
ホームページ <http://www.murakou.com/~kanto/index.htm>

同窓の集いへのおさそい



- とき 平成二六年六月二八日(土)
正午より受付開始・一時開会
 - ところ スクワール麹町
千代田区麹町六一六
☎〇三(三三三三四)八七三九
 - アクセス
・JR中央線・総武線四谷駅下車
麹町口徒歩二分
・地下鉄丸ノ内線・南北線四谷駅
 - 会費
・男女とも 七千円
・平成二一年から二四年卒三千元
・新卒者(二五年卒) 無料
- ※会場準備の都合上、六月二日(月)までに出欠のご返事をお願いいたします。

同窓会の伝統の灯を消すな!

感謝と願い

関東支部副会長
濱中 壽子(18回)



日頃皆様に同窓会活動へのご理解とご協力をいただき有難うございます。今年も皆さんで顔をあわせる「同窓の集い」の日が近づいてきました。ふる里を離れ、関東在住の同窓生が一堂に会します。懐かしい顔に出会い、お国なまりを耳にして、明日への元気をさせる会にして、うと私たち役員・幹事一同準備を進めてきました。

昨年は一五〇余名の方々にご参加いただき盛大な会が出来ました。感謝申し上げます。しかし、若い方の参加が少なく、すこし寂しく感じました。同窓会活動以外に楽しいことが沢山ある時代ですが、若い方も思い切つて同窓の集いに参加してみませんか。同期の方と出会うたり年代の異なる多くの人と交流を持つことで昨日までとは違った世界も知ることが出来ると思います。ソチオリンピックの銀メダリスト村上出身の平野歩夢君の話題で盛り上がるのも良いですね。

今年も声を掛け合い(若い方にも)一人でも多くの方が集まり「集い」の灯をともし続けていけますように皆様のご協力とご参加をお願いします。

(福生市在住)

盛会

二五年度同窓の集い

平成二五年度の「同窓の集い」は平成二五年六月二二日(土)四谷駅そばスクワール麹町で開催されました。梅雨時にもかかわらず晴天に恵まれ

開場前から沢山の方が来られ、受付の所から再会の輪が広がりました。今年度の参加者は一五〇名十来賓と参加費値下げの効果もあり昨年とほぼ同数の方々にご参加をいただきました。

午後一時開会、二六回生の司会進行で第一部総会が始まりました。物故者に黙祷、開会の言葉、会長のあいさつとスムーズに運営されていきます。

続いては事務局長より会務報告と会計報告が行われました。収入・支出は



恒例の鏡割り

昨年度より二八万円ほど減り総額二八七七、三七七円でした。

収入の部		支出の部	
総会会費・お祝い金	146名 11,182,000円	総会費	1,126,000円
維持会費	381名 881,000円	印刷費	329,465円
雑収入	148円	通信費	256,270円
前年度より繰越金	814,259円	維持会費払込手数料	32,440円
合計	2,877,377円	旅費及び慶弔費	115,750円
		会議費	280,552円
		同好会	10,560円
		次年度への繰越金	577,005円
		合計	2,877,377円

収入の部	
総会会費・お祝い金	146名 11,182,000円
維持会費	381名 881,000円
雑収入	148円
前年度より繰越金	814,259円
合計	2,877,377円

その後、遠藤監事より会計監査報告がなされ拍手で承認されました。来賓は村上高校富樫教頭をはじめ本校同窓会役員のかたなど村上からご参加いただきました。

第二部懇親会は村上の銘酒「大洋盛」の鏡割りでスタートしました。卒業年度ごとにテーブルが指定されていて人の輪が出来てなつかしい村上弁も飛び交います。地元村上より提供していただいた豪華賞品の当たる福引きや創作ダンスのアトラクションで盛り上がりしました。最後は懐かしの校歌斉唱で締めました。和気藹々の時間はあっという間に過ぎて行きました。参加費値下により中止も検討した、お土産も継続されて、物産店で購入し



楽しく歓談

た村上名物、そして福引きの景品を携えて「また来年！」の声を掛け合い関東の各地に戻っていきました。

ダンスを続けて初おひねり

工藤さよ子(22回)

高校時代の三年間部活でうち込んだ創作ダンスを今でも続けています。教室を持ち三歳から大人まで基礎から教え、育て、時には私も踊っています。

私のこのような活動を知った同期二二回生の八藤後さん、室井さんから紹介があり、村上高校同窓会関東支部同窓の集い懇親会でパフォーマンスを披露する事になりました。

同窓生の皆様方には私のダンスの勇姿?をご覧いただくよりは、はつらつとした若い私の生徒達のシルエットの方が元気を呼ぶに違いないと思い、プログラムを考えました。

当日、中学生以上の一五名のダンサーで会場をいっぱいを使い参加者の間にも分け入りました。昔なつかしいスイングジャズのアレンジをノリノリの若さで躍動させました。踊りが良かったのか、若いエネルギーが功を奏したのか、幸い好評を博し大きな拍手をいただきました。

演技が終わ同期の皆さんが、おひねり用の帽子を回してくれました。会場の皆さんから帽子いっぱいになるほどの沢山のご厚志をいただきました。ありがとうございます。

踊ることの大好きな生徒達は大勢の皆様演技を見ていただき、大きな拍手をいただきたい、喜び幸せな気分です。帰途につきました。

我が人生の初おひねりは生徒達の交通費や衣装代に替えさせてい



アトラクションリハーサルの指導中



集いでダンス発表

た。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

今年三月に池袋の東京芸術劇場で私のモダンダンスの師の一人である石川

須妹子先生の米寿記念公演があり、私も参加しました。八八歳にして今だ現役です。踊りへの情熱は消えることが無くスポットライトを浴びて生き生きと踊る姿は輝いていて、見ている私たちを幸せな気持ちにしてくれました。見に来てくれていた同期の仲間からも「感動した。」「元気をもらったよ。」という感想をいただきました。良い評を得ることは、やりがいを感じ、励みになります。

私は村高を卒業後、上京し就職、結婚、子育てと人並みに齢を重ねてきました。その中で高校で出会った創作ダンスと離れたことはありません。教室を開設して三二年、発表会も二二回となりました。毎日がコンクールや舞台を抱え振付けを考える生みの苦しみを味わっています。見方を変えれば、純粹な生徒達を相手に創作の至極の時間を過ごしています。三二年、時々自分ながら良くやっているなと思いつつながら続けています。米寿を迎えた師の影響

が大なのかも知れません。いつまで続けられるかわかりませんが今自分が感じることを表現する気持ちがある限りは創作の生みの苦しみと闘いながら続けて行こうと思っています。

興味のある方はぜひお声かけください。舞台の案内をお送りします。(鶴ヶ島市在住)



あの日
あのころ
いまじぶん

「九死に一生」を二度体験した五回の「ガン」手術

高山 一夫 (旧40回)



私は平成二五年一月で満八八歳になりました。小学校は村上町小学校卒業、昭和一三一年旧制村上中学校に入学、一八年卒業しました。現在は新潟市に住んでおります。

私の八八年の人生の中で「死」というものに直面、それも二度も体験したことのない事件でありました。それは五回に渡る「ガン」の手術でした。

一回目は平成一〇年四月に「ガン」による腸閉塞手術、二回目は五月に「九死に一生」とも言える六時間もかかった大腸ガン全摘出手術、三回目は七月に肝臓に転移した為の肝臓ガン手術、

併せての胆嚢摘出手術、この三回の手術で半年以上の入院生活でした。辛くは無かったと言えれば嘘になるかも知れませんが、やはり七三歳の年齢には少し堪えませんでした。中でも今でも忘れることの出来ない痛みと辛さは一回目の手術の後発症した褥瘡(じよくそう)、いわゆる床擦れでした。それは全身麻酔で手術から目が覚める迄長時間同じ姿勢でベットに横たわっていた為、一番体重のかかる背中の中の尾てい骨の辺りが血行不良になり組織の一部が壊死し横三cm、縦四cmの穴になってしまいました。この穴に肉が盛り上がる迄苦しみました。医師には治療には一年位かかるから辛抱して下さいと言われました。夜寝ている時は尾てい骨に一番体重がかかるので痛みをいかに少なくするか寝相には本当に苦労しました。結局完治までに一年半かかりました。

その後の五年間は何もなければと懸念しておりました。四年後の平成一四年腓臓ガンが発症してしまいました。

再手術のまえ医師から「腓臓手術だけで無く周りの臓器の脾臓は全摘出、腎臓は左腎臓摘出、十二指腸、空腸一部切除」という手術に

併せての胆嚢摘出手術、この三回の手術で半年以上の入院生活でした。辛くは無かったと言えれば嘘になるかも知れませんが、やはり七三歳の年齢には少し堪えませんでした。中でも今でも忘れることの出来ない痛みと辛さは一回目の手術の後発症した褥瘡(じよくそう)、いわゆる床擦れでした。それは全身麻酔で手術から目が覚める迄長時間同じ姿勢でベットに横たわっていた為、一番体重のかかる背中の中の尾てい骨の辺りが血行不良になり組織の一部が壊死し横三cm、縦四cmの穴になってしまいました。この穴に肉が盛り上がる迄苦しみました。医師には治療には一年位かかるから辛抱して下さいと言われました。夜寝ている時は尾てい骨に一番体重がかかるので痛みをいかに少なくするか寝相には本当に苦労しました。結局完治までに一年半かかりました。



なる。」との説明がありました。七時間の大手術でしたが四年前と同じく「九死に一生」の幸運に恵まれました。七七歳の年齢にもかかわらず事無きを得た訳です。

これで「ガン」はもう発症しないだろうと医師も言っておられました。

ところがさらに八年後の平成二二年私が八五歳の時に予想もしなかった「ガン」が発覚したのです。内臓の「ガン」でなく足裏の皮膚ガン「悪性黒色腫」でした。即日入院し翌日手術と言う急なものでした。足の親指のつけ根にホクロが見つかり、それがだんだん大きくなったので受診したところ皮膚ガンと判明したのです。親指のつけ根は日常生活で一番体重がかかる場所だけに手術は短時間で終わりましたが治療する迄には本当に長期間かかりました。皆さんも「ホクロ」が大きくなり始めたなら早期に受診して下さい。

これで五回の「ガン」手術を体験しその都度、生還することができました。現在は健康者とほぼ変わらぬ日常生活を送っています。体力維持には運動をすること、永年スイミングクラブとフットネスクラブで年齢にあった適宜な運動を続けています。そして時々のゴルフ、これらのお陰で「九死に一生」を得て現在の健康を保っております。

(新潟市在住)

※高山さんは新潟市在住ですが、臥牛会コンベンなどにも参加いただいています。昨年「星和会」(村高OBシニア会)でお話いただいたのが感動的でしたのでご寄稿をお願いしました。

私の異文化体験

飯沼 孝(5回)

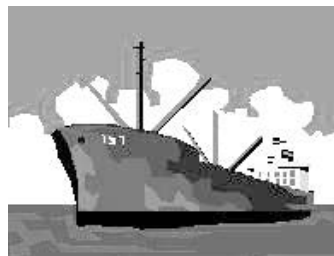


村高を卒えて入った東京の学校で、運良く国家資格の一つを取得することが出来た。この資格で働ける職場を探して海運会社に就職し、船員になった。

はじめは、元々が山村の出だったので海に馴染みは無くともまどう事も多かったが、そのまま半生を過ごした。改めてふり返つても、脳天気にごった楽しい思い出だけが深く記憶に残る。

当時、個人での海外観光旅行は許可されていなかった。食・住み込み・給料付きで外国へ行けるのが何よりの魅力だった。途中の航海が辛くても、見知らぬ国へ行ける事への好奇心と、他の人が出来ないことをやっているというある種の優越感の様な気持ちが辛さより勝った。寄港地では日本では体験出来ない文化に触れることが出来ることとが何よりの楽しみだ。

異文化の最たるものの一つがカジノだ。最初は物珍しさが半分、怖いもの見たさが半分でカジノを覗いた。見ていただけでは済まなくなり、つい手を出してしまい、その魔力に



取り憑かれるのが大方のパターンだ。初めて訪れたロンドン市内のカジノは、とても感じの良い店だ。ルーレットとカードそれぞれ数台ずつ置かれた中規模の広さで明るく落ち着いた雰囲気だ。さらにディーラー達が美形の女性で場を華やかにしていて気持ちを一層昂揚させた。

これ以降すっかりカジノファンになり寄港地にカジノがあると訪ね歩いて。ロンドンのように市中の盛り場にお店があるのはまれで、多くは海岸のリゾート地とか山の上など街から遠いところが多い。小さなカジノでもルーレットだけはあつた。ルーレットは全く初めてでも充分楽しめた。そのためか一番人気がある。カジノで言葉は不要だ。いろんな賭け方があるが基本は二者択一だ。況ゆる日本の丁か半と同じ。一杯やりながら、熱くなつてプレイする人を眺めているだけでも面白い。



三〇年近く続いた一ドル三六〇円の固定為替相場が一九七三年に変動制になり、八四年には一万円札が聖徳太子から福沢諭吉に交代した。変動制で円高が進み、その恩恵にあずかった。現在ほとんどのアジア諸国はカジノを解禁している。日本のカジノファンは、お隣の韓国やマカオに遠征して、お金を落としている様子だ。日本の関係者も手をこまねいている

だけではなく、昨年一二月にカジノ推進の関連法案を上程済みとの事だ。誘致希望自治体も続々名乗りをあげている。果たして日本で晴れてカジノオープンの日は来るだろうか？興味津々見守っている。(東京都港区在住)

センターポールに日の丸を

ロンドンオリンピック

日本代表水泳・競泳コーチ

鈴木陽二(20回)



日本中がソチオリンピックで盛り上がっているなかこの原稿を書いて

います。今大会で日本に初めてのメダルをもたらしたのは村上出身の平野歩夢選手。同郷の選手がメダルを獲得するのは初めてのことで村上は歓喜に沸いたことでしょう。さらに冬のオリンピックで日本選手最年少でのメダル獲得ということで大変誇らしく、競泳の全日本コーチにも同郷であることを自慢しているところです。平野選手に限らず若い選手の活躍には本心に夢があり、わくわくします。

村上には年に一回は帰るようになっていきます。昨年は九月に帰郷し、同級生とゴルフに宴会：そして岩船大祭。とても楽しいひと時でした。また、まだ一歳に満たない孫が岩船で海デビューを果たしました。帰るたびに故郷はいなと感じています。

冬季オリンピックで盛り上がっている中、日本水泳界では二年後にせまっ

たリオデジャネイロオリンピックに向けて、選手たちは練習に励んでいます。我々コーチも日本と海外を行き来しながら選手と共に戦っています。一月末、オーストラリア・パースにてBHP5カ国対抗戦が国別対抗戦形式で行われ、日本は団体で総合第二位という好成績を収めました。日本水泳界も萩野公介をはじめ、若い有望な選手がたくさん育つてきています。その試合後すぐに一部の選手はグアムに移動し、全日本の合宿を行いました。天候に恵まれ真つ黒に日焼けしながら充実した練習を行うことができました。

このあと四月に行われる日本選手権で代表選考が行われます。リオを見据え、まずはそこで選手たちが良い結果を残せるよう出来るかぎりのことを尽くしたいと思えます。

昨年はセントラルスポーツ出身の鈴木大地さんが日本水泳連盟の会長に就任し、二〇二〇年東京オリンピックも決定しました。鈴木大地会長が金メダルを獲得してから二〇年以上が過ぎていきます。再び六年後の東京で、セントラルスポーツの選手が金メダル



どんな風にして来ることになったかと言えば、一月の末頃だったでしょう。青年がハンカチを買いに立ち寄り、色々な話を聞いていききました。創業は昭和五年で、高度経済成長期には会社の上に二〇人ほど住み、二階でマシンがけをしていたこと等。で、なにも買わずに立ち去ったのです。私は学生さんがレポートでも書くのかと思ったのですが、週が明けると、今度は二人でおみえになりまして、了解しました。



加山さんのゆうゆう散歩は主人が大好きでたまに、第一回から録画して視ていること、結婚式でも予定外の「君といつまでも」を最後に主人が歌わされたこと等話し、そんなシーンも放映されました。TVの反響は大きく、ハンカチフラワー花束や花かごの注文が多数舞い込みました。皆様も何かご用の際は広田ハンカチへどうぞ。

村上高校の同窓会には昨年初めて参加させていただきました。私もフィギュアスケートの羽生君のように村上のために何か貢献していきたいと思っています。今後ともよろしく願っています。

追記 ソチオリンピックが終わりました。浅田真央選手すばらしい感動を

ありがとうございました。
 (東京都台東区在住)
 広田ハンカチ店 TEL03-3861-1101
 ホームページは「広田ハンカチ」で検索すると出てきます。

同窓会関東支部主催・歴史散策会
「横浜三溪園と異国情緒あふれる山手の洋館」

一〇月三二日(水)晴れ(参加十五名)

田所和子 (17回生)

秋の大型台風にかかわらず、これほど悩まされた年はなかったのではないのでしょうか。一六日の予定が台風が関東地方直撃となり、急ぎよ二三日に延期となり、人数が大幅に減ってしまったのは残念でした。先ずはJR根岸駅に集合して、市営バスで三溪園へ向か



三溪園の見学

な庭園である。原三溪は園を市民に無料開放しただけでなく、前田青邨、横

山大観など芸術家の支援育成もしている。広大な庭や丘を歩き、また文化財保存のため移築された歴史ある建物を目の前にしてガイドさんの説明を受け、なお一層その建物の歴史と価値に感嘆し、多くの知識を得て満足した。



お茶を一服

「臨春閣(重要文化財)は開け放された縁側から拝見する形となったが、徳川吉宗が幼少期遊んだという建物で欄間や意匠を凝らしたその内部に感心。またそこから眺められるすべての庭が計算された美しさであった。

「聴秋閣」は徳川家光が二条城内に建て春日局に賜ったというこじんまりとした建物ではあったが、書院造りの格や茶亭としての機能を備え、緻密な構成の建築には感心するばかりであった。内苑を一巡後、記念館内の抹茶処で立てて頂いた茶を一杯、しばし休憩。昼食は中華街で、円卓を囲んで和気あいあいとフルコースを堪能。なかには紹興酒を楽しむ方も。

食後は中華街にある絢爛豪華な「関帝廟」と「媽祖廟」を見学。その後、



美味しかったです

山手聖教会から、山手公園、そして午後一番の目玉となる洋館「ペリーリック・ホール」へ。この建物はイギリス人貿易商ベリック氏の邸宅として1930年に建てられ、現存する山手外国人住宅では最大級の建物で、かの有名なアメリカ人建築家モーガンの設計によるすばらしい建物であった。丁度ハロウィーンの前あたり、各部屋がそれぞれにふさわしく飾りつけられ異国情緒を醸し出し大変興味深かった。

山手を一回りし、最後は国指定文化財「ジェラール水屋敷地下貯水槽」に。今は僅かしか湧き出ていない水だが、開国時から大震災までは豊富な清水を外国船に売った歴史が、



海が見える丘公園

説明版に刻まれていた。年代を越え楽しく語り合いながら歩き、多くの知識を得た「横浜散策」であった。
(藤沢市在住)



洋館「ベリック・ホール」参加者全員集合

ゴルフ同好会 「臥牛会」



昭和六三年から続いている臥牛会コンペも五二回を数え、今回もアクセス等を考慮し、紫カントリー倶楽部やめコースで、平成二五年一〇月八日(火)に、二三名の参加を得て実施いたしました。天候も上々で風もなく、言い訳のできない状況でのスタートとなり、キャディーなしでのセルフプレーで腕前を競い合いました。



臥牛会52回大会

結果は、三回目参加の稲垣さんと四回目参加の本間保さんとの一七回生のワンツーフイニッシュとなりました。お二人は高校時代に野球部でバッテリーを組んでいた名コンビです。

また、女性で参加者一番の若手である北岡さんが三位に食い込みました。千葉県野田市紫カントリー倶楽部

- ・優勝 稲垣 常夫(17回) NET 七三
- ・準優勝 本間 保 (17回) NET 七五
- ・三位 北岡 亮子(22回) NET 七七

五三回大会は四月三〇日に行いました。結果は次号でお伝えする予定です。

(臥牛会事務局 瀬下)

何時かは 夢のホールインワン

伊藤 マユ子(21回)



ゴルフコンペや競技のあとで、思いがけないプレーをしてしまった事を、「事件や事故が起きてしまった」と仲間内で話します。パー4のコースで二桁たたきとか、パターを4打もやってしまったとか、一打目のOBラインぎりぎりセーフの二打目を出してしまいました。とかとか。楽しい事件は、チップインバーディパー5の3打目をグリーン手前のバンカーに入れ苦手なバンカーショットが案の定ピン方向に行かずグリーンボールがグリーンに落ちコロコロころがり入ったバーディー！奇跡でした。飛んでる鳥に打ったボールが当たった事も二度とは起きない事件でしょう。中でも特別なのが、ホールインワン、これは事故だそうです。だから保険があるとの事です。

この事故を初めて見せてもらったのは、七六才の方でした。同伴者として打球を目で追っていてその瞬間「入った入った」思わず興奮して大声で叫んでいました。打った御本人は、チョット短いと思いいを探して自分では目撃しなかったのです。少しショートした、そのボールはピンに向かって真つすぐころがり、入ったんです。

その日のこのホールインワンは、あつと言う間にクラブ内に伝わり皆さんから「おめでとう」の言葉があり同伴者の私は、なにしろゴルフを始めてから初体験ですから状況説明も、まるで自分のことのようにウキウキ気分、とてもハッピーな一日でした。その方のプレーは、まさにシングルプレイヤー実力の一打でしたが、同じホールインワンでもグリーン横に落ちたボールが何かでキックして偶然に入ったという運が強いとしか言えない方がコンペ仲間から出た事がありました。祝贺パーティでのご本人の言葉は「狙っても絶対に入りません やはりホールインワンは、事故です。こんな楽しい事故は、何度でも起きてほしいものですね。さてゴルフ同好会の臥牛会におきましては、春・秋と年に二回のコンペがあり同級生や先輩方にお会い出来るのが楽しみなゴルフです。昨年は、同級生の仲間が増える嬉しいこともありました。この会でも是非どなたかホールインワンの事故に遭遇して頂きたいのです。私のホールインワンも、実力不足は運にかけて、いつかは実現を夢見ます。(さいたま市在住)

維持会費納入のご協力をお願いします

同窓会関東支部の活動を支える唯一の財源として、皆様は年間一口(2000円)以上の維持会費をお願いしています。同封の振り込み用紙にて納入をお願いします。昨年度は沢山の方々からご協力をいただきました。本年度もなにとぞ、よろしくお願ひ申し上げます。事務局

一生懸命に努力する村高生

学校長 中野 晋

関東支部総会の開催、誠におめでとうございます。昨年度出席した本校教頭(高



第三一回卒)から、皆様方の村高に寄せる熱き思いを聞かせてもらいました。皆様の期待にお応えできるよう、また社会に貢献できる人材づくりを目指し、教職員一同努力したいと思います。

ここで、本校生徒会長 鈴木奈那さんの声を紹介し、何事にも一生懸命に努力する村高生の様子をお伝えしたいと思います。村高の雰囲気を感じてもらえれば幸いです。今後とも本校への変わらぬご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

※中野校長は三月で定年でご退職になり、中島都雄校長が着任しました。

伝統の文武両道

生徒会長 鈴木奈那



「おはようございます。私たちの朝は、この挨拶から始まります。村上高校の挨拶の素晴らしさは、いつでも胸を張って誇れるものです。挨拶のおかげで生徒はもちろん、先生方や来賓の方々も気持ちの良い日々を過ごすことができます。」

村上高校の生徒は文武両道、堅忍不拔の精神で日々の学習・部活動に力を

入れています。

何より集中して物事に一生懸命取り組むときのオンと、友達との会話を楽しんだり、読書をしたりする休み時間の時のオフの切り替えをしつかり区別することで、楽しく、のびのびとした、個性あふれる学校生活を送ることができているのだと思います。

私が生徒会長としての役割を務めるのも、残り半分を切りました。私は全校生徒が日々の学校生活を楽しく、充実して過ごすことができるよう、より良い学校生活を創り上げたいと考えています。そのために、できる限り生徒の意見を取り上げながら行事を計画し、校内の改善を図っていききたいと思っています。後悔することの無いよう、残りの活動を行っていききたいです。



大学入試センター試験受験(二月十八日)

ふるさとだより 「新名所日本海スケートパーク」

ソチオリンピックでスノーボードハーフパイプで銀メダルを獲得した村上第一中学校3年生の平野歩夢君の快挙に村上では沸いています。祝勝パレードには1万2千人もの人々がお祝いに駆けつけました。町中に銀メダル獲得の平野君のポスターが貼られています。



この歩夢君が小さい時からスケボーでテクニックを磨いた場所が平野君のお父さんが経営している瀬波温泉にある「日本海スケートパーク」です。瀬波温泉から岩船港に向かう海岸道路の瀬波ビューホテルの真向かい、温泉方面から行くと岩船鮮魚センターの手前のかつて市民体育館として成人式会場などに使われた古い建物です。あまりにもぼろいので見過ごしてしまうかも知れません。



中に入ると老朽化して払い下げられた体育館をハーフパイプやスロープ段差などをベニヤ板等でつくり、スケートパークにしています。このスケートパークが銀メダリストを育んだのです。

運営方針には「スキーやスノーボード、サーフィン、スケートボード、インラインスケートなどで頑張る子供達のより良い環境づくりを考えスケートパークを運営しています。

子供達は皆大きな可能性を秘めています。夢を持ち一步一步前進していくことで大きな自信が生まれ、更に大きな夢へと胸をふくらませることでしょう。夢に向かって子供たちに大人は何をしてあげられるのか、それを日々考えながらサポートに力を入れています。子供たちの交流の場としてスケートパークを提供し、多くのキッズの夢をサポートすることが“e-夢キッズ”の目的です。」とあります。

村上鮭っ子クラブという活動も行われていて、5月～12月 毎週土曜日 午前10時～12時子ども達が未来の歩夢君を目指して活動しているそうです。

ちなみに利用料金は滑走料会員(年会費3,000円)1日500円、非会員1日1,500円、だそうです。

編集後記



心良く寄稿していただいた方々の協力と、校正を一緒にやっていたいただいた佐藤会長はじめとする皆様の力で今回も広報紙を作成することが出来ました。最初の予定通り八ページの紙面構成

成になりました。しかしわずかに原稿&写真が多く維持会費納入者一覧を載せるスペースが無くなってしまいました。このため納入者一覧は別紙となりました。紙面構成の未熟をお詫びします。本紙が会員交流に役だっていたら山